平成27年度 地域づくり提案事業 一覧表

	団体名	テーマ	内容
1	大淵地区自治運営協議会	大淵地域振興計画書	アンケート調査により地区課題の掘り起こしを行う。また、行政区ごとの地区懇談会を実施し、大淵地区の目指すべき将来像をまとめた地域振興計画を策定する。
2	三河校区まちづくり協議会	三河校区まちづくり協議会地域振興計画策定	策定委員会を立ち上げ、アンケート調査やワークショップ等を開催し、現状・課題・地域資源等について掘り起こしを行う。また、三河校区の将来や取組み施策等を地域振興計画としてまとめる。
3	川崎校区まちづくり協議会	川崎校区まちづくり協議会地域振興計画策定	各種団体より策定委員を選任し、ワークショップを中心に地域の現状・課題・将来像（まちづくり目標）を決定する。また、目標実現のための施策等の地域振興計画を策定する。
4	木屋地区自治運営協議会	渡内公園（グリーンピア八女内）拡充プロジェクト	渡内公園頂上からの展望は素晴らしく、グリーンピア八女との相乗効果による地域活性化を目指す。具体的には不要木を伐採して駐車場と車道を整備する。またチューリップを植栽し休息用のベンチとテーブルを設置する。
5	光友地区地域振興会議	井戸端会議推進事業	光友地区の24の旧行政区にバンコを設置し、コミュニケーションの場を作る。住民が集まってバンコを制作出来るよう素材を用意し、組み立ての段階から作業することで愛着を持ってもらう。
6	NPO法人辺春地域振興会議	八女の昔ながらの味噌作りやこんにゃく作りを伝承するプロジェクト	ゼロから作る味噌作りやこんにゃく作りを、参加者を募り、体験教室（最終工程）として実施。またそれらを使用した地元の簡単な料理等も伝承する。
7	白木地区地域振興会議	旧白木小学校山林公園化事業（1期）	白木小学校に隣接する山林を公園化する。不要樹木（孟宗竹）の伐採、遊歩道（管理道路）の整備、遊歩道の安全整備、紅葉樹木の植栽、植栽樹木の周辺整備。（2年計画）
8	白木地区地域振興会議	みんなで守ろう。白木対災マニュアル	消防団・自警団と自主防災会の連携及び緊急時の対応の強化のため次の活動を行う。①隣組を超えた行政区での総合防災訓練の実施（災害図上訓練・避難所訓練）②消防設備点検を住民全体で実施。
9	星野1区がんばる振興会	柳原地区共同生活用河川進入道路整備事業	九州北部豪雨災害で被災した地元管理の共同生活用河川進入道路について、八女県土整備事務所との協議で地元施工による復旧となったため、当事業を活用し、路盤・コンクリート舗装を地域住民の作業で施工する。
10	小野地域振興会	美しい里山景観づくり事業	九州北部豪雨災害により田園風景が少なくなり、畦畔の彼岸花がなくなっている。今回、彼岸花の植栽活動等を行い、訪れる人たちに景観を楽しんでもらうとともに都市との交流促進を図る。単年度での植栽は困難なため、3年間の継続事業とし、各年で彼岸花を畦畔に5,000球、パンジーをプランターに200箱植栽する。

11	福島地区まちづくり協議会	福島地区まちづくり協議会 地域振興計画策定	福島地区行政区及び各種団体より運営委員を選任し、座談会やアンケート調査を中心に地域の現状課題、将来像（まちづくり目標）、目標実現のための施策を「地域振興計画」としてまとめていく。
12	木屋地区自治運営協議会	姫御前史跡周辺整備事業	南北朝時代に悲運の死を遂げられた姫御前様の史跡が神露淵区に残されている。安産のお守りとして大勢が訪れる。この史跡周辺を整備し、当地に伝わる歴史を次世代に伝える。具体的には、史跡に屋根を作る。また、近くにある湧水場（姫御前水）を自然な湧水景観としたい。
13	矢部地域づくり協議会	日向神ダム湖畔に秋の装いを作ろう	数年前に日向神ダム湖畔に数十本のモミジが植えられ、誘客に大きな力を発揮すると地域住民から要望が上がっている。県道沿いに3年間かけて300本（年100本）のモミジを植栽し、春の桜・秋のモミジの2大景勝として市民及び観光客に楽しんでもらう。また、作業機械によるダムの流木等の除去も同時に実施する。
14	上陽地区まちづくり協議会 下横山支部	上陽わらべの森公園づくり事業	わらべの里研修センター（旧下横山小学校）東部の山林は、地域に親しまれる緑豊かな森だが、地権者の高齢化や後継者不足により荒れている。また、一部には有効な畑も残されているが活用されていない。この森を地域住民の手で少しずつ整備し、自然体験を楽しむことができるような「わらべの森公園」として再生する。